

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

## 思考スキル

### ○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

### ○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

### ○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

### ○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

### ○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

### ○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

### ○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

### ○特定の状況を仮定する

- ・「極端な場合を想定して考える（もし全て○なら、もし○○がなければ、…など）」
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

## 思考スキル

### ○知識

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

### ○理由

- ・ 筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後にあることを明らかにする

### ○置き換え

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

### ○比較

- ・ 多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異を明確にする

### ○分類

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

### ○具体・抽象

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ ある特徴を持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

### ○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ ある目的のための手段となることを見つけ出す

### ○推論

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

# 小学4年 基礎力テスト (国・算) —— 解答と解説

## 算数 (国語と算数あわせて40分)

**1**

(1)	999	(2)	123	(3)	770
21		22		23	

(4)	9	(5)	9.1	(6)	2.5	(7)	$\frac{5}{7}$
24		25		26		27	

**2**

(1)	24	人	(2)	20	分	(3)	78	cm	(4)	5	cm <sup>2</sup>
28			29			30			31		

(5)	①	600	g	②	1	kg	250	g
32				33				

(6)	①	正	三角形	②	直角二等辺	三角形	
34				35			

**3**

(1)	4800	円	(2)	20600	円	(3)	40	こ
36			37			38		

**4**

(1)	ア	9	イ	8	(2)	ア	1	イ	7	ウ	9	エ	5
(完答) 39						(完答) 40							

(3)	ア	1	イ	5	ウ	9	エ	7	オ	3
(完答) 41										

# 国語

(国語と算数あわせて四十分)

## 一

問一	①	42
	美	
	②	43
	負	
	③	44
	寒	
	④	45
	汽車	
	⑤	46
	新聞	

問二	はじめ	
	お	
	父	
	さ	
	終わり	
	の	
	ゆ	
	ず	(完答) 47

問三	A	
	イ	
	B	
	エ	
	C	
	ウ	
	D	
	ア	(完答) 48
問四	イ	49

問五	エ	50
問六	目	51
問七	イ	52
問八	ウ	53

問九	やさしい兄さん	54
----	---------	----

(配点)

算数

- ① 各2点×7=14点
- ② 各2点×8=16点
- ③ 各3点×3=9点
- ④ (1)3点 (2)(3)各4点×2=8点

国語

一

- 問一 各2点×5=10点
- 問二~問九 各5点×8=40点
- 計100点

## 【解説】

## ② いろいろな文章題

- (1)
- A1**
- 情報を獲得する 再現する

くばった折り紙のまい数： $74 - 2 = 72$  (まい)くばった人数： $72 \div 3 = \underline{24}$  (人)

- (2)
- A1**
- 情報を獲得する 再現する

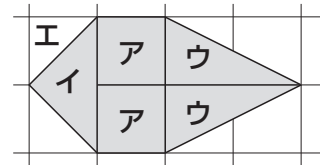
8時5分 - 7時45分 =  $\underline{20}$  (分)

- (3)
- A1**
- 情報を獲得する 再現する

 $26 \times 3 = \underline{78}$  (cm)

- (4)
- A1**
- 特徴的な部分に注目する

右の図のように、エはイ1つ、ア2つ、ウ2つに分けることができます。

 $1 + 2 + 2 = \underline{5}$  (cm<sup>2</sup>)

- (5) ①
- A1**
- 知識・情報を獲得する

 $1 \text{ kg} = 1000 \text{ g}$   $1000 - 400 = \underline{600}$  (g)

- ②
- A2**
- 知識・情報を獲得する

 $1 \text{ kg} 850 \text{ g} = 1850 \text{ g}$  大のふくろは、 $1850 - 1000 = 850$  (g)小と大のふくろを合わせると、 $400 + 850 = 1250$  (g) =  $\underline{1 \text{ (kg) } 250 \text{ (g)}}$ 

- (6) ①
- A1**
- 特徴的な部分に注目する

辺アイ、アウ、アエ、アオはこの円の半径で、その長さは $18 \div 2 = 9$  (cm)3つの辺の長さがどれも9cmなので、三角形アイウは正三角形

- ②
- A1**
- 特徴的な部分に注目する

辺アエと辺アオの長さが9cmで等しく、直角三角形でもあるので、

三角形アエオは直角二等辺三角形

3 表とグラフ

- (1) **A1** 情報を獲得する 再現する

1週目のトマト1このねだんは、表より80円  
 1週目に売れたトマトの数は、グラフより60こ  
 よって、1週目に売れたトマトの合計金がくは、 $80 \times 60 = \underline{4800}$  (円)

- (2) **A2** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

1週目：4800円  
 2週目： $70 \times 70 = 4900$  (円)  
 3週目： $90 \times 60 = 5400$  (円)  
 4週目： $100 \times 55 = 5500$  (円)  
 よって、4週目までに売れたトマトの合計金がくは、 $4800 + 4900 + 5400 + 5500 = \underline{20600}$  (円)

- (3) **A2** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

5週目： $25000 - 20600 = \underline{4400}$  (円)  
 5週目のトマト1このねだんは110円なので、売れたトマトの数は、  
 $4400 \div 110 = \underline{40}$  (こ)

4 大きな数とひっ算

- (1) **A2** 情報を獲得する

$501 - 3 = 498$ なので、ア=9、イ=8  
 ひっ算の答の十の位が0なので、 $50 - 49 = 1$ の1は10として一の位にくり下がり、  
 8をひくのにつかわれています。

$$\begin{array}{r} \phantom{0}1 \\ 501 \\ - 498 \\ \hline 03 \end{array}$$

- (2) **A2** 順序立てて筋道をとらえる 調べる

$80\text{ア} - \text{イ}\text{ウ}\text{エ}$ の答えが6なので、 $\text{イ}\text{ウ}$ には79があてはまります。イ=7、ウ=9  
 $1\text{ア} - \text{イ}\text{エ} = 6$ の組み合わせとして考えられるのは、 $15 - 9$ 、 $14 - 8$ 、 $13 - 7$ 、 $12 - 6$ 、 $11 - 5$   
 このうち、 $\text{ア}$ も $\text{イ}$ も使われていない数字があてはまるのは、ア=1、イ=5

- (3) **B1** 順序立てて筋道をとらえる 調べる

(1)(2)と同じように、 $602\text{ア} - \text{イ}\text{ウ}\text{エ}\text{オ} = 48$ より、イ=5、ウ=9  
 次に、 $12 - \text{イ}\text{オ} = 4$  とすると  $\text{イ} = 8$  になってつかえないので、2のうち1は一の位にくり下げたと考え、  
 $11 - \text{イ}\text{オ} = 4$  より イ=7  
 さいごに、 $1\text{ア} - \text{イ}\text{オ} = 8$  について、まだ使われていない1と3をあてはめます。よって、ア=1、オ=3

## 【解説】

① 小川未明「ゆずの話」(青空文庫)から出題しました。年雄が、お父さんが大事に育てていたゆずをもちだすことでおこったほろ苦いできごとが描かれています。幼くして亡くなったやさしい兄さんへの、家族それぞれの思いを丁寧に読み取りましょう。

## 問一 A2 知識

三年生までの漢字を問う問題です。とめやはねまで、ていねいに書きましよう。

## 問二 B1 関係づけ

「これ」は、直前の一段落目で書かれている「ゆず」のことです。二十一字、とあるので、どのようなゆずなのか、くわしく書かれている部分を探しましょう。

## 問三 B1 関係づけ

会話文の空欄補充の問題です。誰のセリフか見当をつけて、会話が成立するように並べ替えていきましょう。幼さの残るしゃべり方や内容から、イ・ウが年雄、大人びたしゃべり方からア・エが兄さんだとわかります。Aは年雄のセリフで、会話のはじまりですから、イが入ります。あとは話の流れを考えて入れていくとよいでしょう。

## 問四 B1 関係づけ

②の直前で兄さんが「あっ!」と言っていることや、年雄がゆずをもちでしまったと知って「たいへんなことをした。」と言っていることから、兄さんがおどろいたことが推測できます。よって、「おどろきの」が入ります。

## 問五 B1 理由 推論

線③の直前のできごとを読みましよう。ゆずをもちだ年雄のもとに急いでやってきた兄さんが「たいへんなことをした。お父さんにしかられるよ!」と言ったことが書かれています。ここで、ゆずをもちでしまったことは、たいへんなことで、お父さんにおこられる、と年雄は悟りました。だから泣き

出しそうになったのだと考えられます。ですから、答えはエです。イ「兄さんが自分のかわりに：おこられる」、ウ「兄さんがはげしくせめたてる」の部分が本文からは読み取れません。ア「何か困ったことになったのかもいけない」とありますが、ここで、自分がゆずをもちだすことはやってはいけないことだ、とわかっているのですから、「何か困ったことになったのかもいけない」という表現はズレています。エの方がより適切に、できごとと「泣き出しそうになった」年雄の心情を説明しているものだと思います。

## 問六 A2 知識 関係づけ

④の直後に、「大きな声で叫ばれました」とあります。お母さんは、お父さんの大事にしているゆずがもがれているのを見ておどろいたのでしょう。おどろいたときの慣用語として「目をまるくする」、「目を疑う」「目を白黒させる」「耳を疑う」「腰をぬかす」「肝をつぶす」などがあります。

## 問七 B1 理由 推論

線③の直後、お父さんにおこられると思い、泣きそうになっている年雄を見て、「やさしい兄さんは、これかわいそうに思ったのでしょう。『いよいよ、年ちゃん、知らんでしたのだから……。』』と言ってくれたことが書かれています。ここから、兄さんは、自分がゆずをもちだすことになって、年雄の代わりに自分が怒られることで、年雄をかばってくれたのだとわかります。ア「どうしていいかわからなかった」、ウ「年雄をきちんと見張っていないから自分にお父さんの怒りが向くのも当然」、エ「話すだけ無駄」などが本文からは読み取れません。

## 問八 B1 関係づけ

兄さんは幼い年雄をかばっていたのだ、ということを知ったとき、お父さんが自分のしたことの中で、何を後悔したかを考えましよう。ア「泣かせるほど、頭をなぐり」、イ「いつまでも許さなかった」は本文からは読み取れません。エの内容は、兄さんが年雄をかばったのできごとと関係がありません。

問九

B1 関係づけ

⑦ を含む一文をよく読みましょう。「ゆずを見て、お父さんも、  
⑦  
のことを、思い出しなされた」とあります。「年雄」がゆずを見て、兄さんの  
ことを思い出したのと同様に、お父さんも兄さんのことを思い出していた、  
ということですよ。「兄さん」はこれより前で四回も「やさしい兄さん」と表現  
されています。このようにくりかえされている印象的な表現には気を配るよ  
うにしましょう。